

第 5 7 回
東北地方交通審議会
船員部会議事要録

平成 25 年 7 月 26 日
東北地方交通審議会
船員部会事務局

東北地方交通審議会

第57回船員部会

日 時 平成25年7月26日（金） 15:30～

場 所 仙台第4合同庁舎 4階会議室

出席者 公益委員 : 長谷部部会長、村上部会長代理、清水委員、箭内委員
労働者委員 : 高橋（雅）委員、鈴木委員、正路委員（欠席）
使用者委員 : 鶴本委員（欠席）、佐藤委員、湯村委員

運輸局 : 本田海事振興部長、阿部海事振興部次長
鈴木海事振興部船員労政課長、淀川労政係長

議 題 (1) 管内の雇用等の状況について
(2) その他

配付資料

- 資料1 船員職業安定業務取扱状況説明資料（5月分）
- 資料2 新規求人・求職数（東北管内：3年対比）
- 資料3 有効求人・求職数（東北管内：3年対比）
- 資料4 新規求人・求職数（全国）
- 資料5 有効求人・求職数（全国）
- 資料6 有効求人倍率（東北管内）
- 資料7 有効求人倍率（全国）
- 資料8 最低賃金の改正に係る検討資料
- 資料9 新聞情報

議 事 概 要

◎開 会

【海事振興部次長】

〔第 57 回船員部会の成立について報告〕

〔配付資料確認〕

◎議 事

(1) 管内の雇用等の状況について

【部会長】

それでは早速、議事に入りたいと思います。

お手元にある議事次第の議題(1)管内の雇用等の状況について、事務局から報告願います。

〔船員労政課長より資料1～7に基づき報告〕

【部会長】

よろしいですか。ただいまの報告につきまして、ご意見、質問等ありましたら、どうぞお寄せください。

【箭内委員】

5月の成立状況で、石巻の件数が延べ9件ということで他に比べて随分多い感じがしますが、特別な理由が何かあるのですか。それとも、ただ単に取り扱い件数に比例して成立しているのも多いということなのですか。

【船員労政課長】

詳しい状況までは掴んでいませんが、資料を見ますと、1件がまき網で、5件が底引きなので同じ船のほうに行ったのではないかと思われませんが。

【高橋委員】

中身的には、新しく1隻が増えたということで、乗組員1グループがそのまま乗船したということですね。

【部会長】

それが目立つぐらいの状況だと。よろしいですか。どうもありがとうございます。

ほかにいかがでしょうか。

無いようでしたら、ご了承していただいたということで、次に進みたいと思います。

(2) その他

【部会長】

議題2の「その他」ですが、事務局のほうから資料8の「最賃に係る検討状況」の説明、お願いいたします。

〔海事振興部次長より資料8について説明〕

【部会長】

どうもありがとうございます。ご質問、ご意見等、ございますでしょうか。

【高橋委員】

何度も言っていますので、できれば今年は是非。他地区も開催しているところがありますので是非お願いしたいと思います。

【部会長】

では、よろしいですか。状況は皆さんが理解しているとおりでと思います。福島第一原発の放射能漏れがまたいろいろ出てきていまして、なかなか海のほうは大変かなというふうに思っていますが。

【高橋委員】

今回、航海日当の非課税枠が広がりましたので、その分で海員組合と関係するところはアップになります。漁船に関してはオール歩合制で実質賃金アップとはなりませんけれども、固定給の部分で増えることになります。

【部会長】

それは。

【高橋委員】

昨年の労働協約改定時に船主団体、各社に、航海日当の現行の8%アップの申し入れをしまして。8%アップの了解を得て監督官庁の国税の方へ申入れを行い、6月17日に監督官庁のほうから許可が出ましたので。それ以降、実施するということになっています。

【部会長】

最賃はいいとかという話ではない。

【船員労政課長】

実施時期はまだ、未定ですよ。

【高橋委員】

いや、それは内航関係で、漁船関係はもうスタートするところがあります。

【船員労政課長】

実施時期も決定しましたか。

【高橋委員】

中央の内航と大型カーフェリーとか外航とか、そちらのほうはまだしていません。漁船の場合は、個々の交渉になりますので。各社との交渉になります。

【海事振興部次長】

前回、手当関係の情報などを差し上げていると思うのですが、航海手当が上がると基本給プラス手当が上がった分で底上げになるというような話であります。ですが、漁業の部分は内航とはちょっと違う部分なので、こちらでも情報を掴んでおりませんでした。

そういった意味で内航や旅客については手当の関係が若干増えるので、全国ベースの部分では必要があるということで本省のほうで諮問することになってございますけれども、地方の最賃を決める際の条件的な部分では航海日当の部分で入っていないと思っていました。それが上がった以降、諮問する必要があるというような見方は、今のところはしていないのですが。

【部会長】

すみません。今の高橋委員の発言が私よくわからなくて。全体が上がったから最賃は上げなく

ていいという話なのか、それとも全体が上がったのだから最賃も上がるべきだという話なのか、私はどっちだろうと思って事務方のほうに目を向けて、どっちですかと聞いたのですが。今の話は、わかりました。

【海事振興部次長】

高橋委員の話は、上がるので上げるべきというふうに理解しておりますが、うちのサイドとすると、ちょっとその部分はどうしようかなと。

【部会長】

そこら辺をご考慮の上、8月に結論が出るということですね。

【海事振興部次長】

できるだけ早目に結論を出したいと思います。

【部会長】

8月以降ですね、ご検討ください。

【村上委員】

この新聞情報の9ページに何か政府の要請があるみたいに書いてありまして。こういうのは影響するのですか、しないのですか。

【海事振興部次長】

先ほどもちょっと資料のほうで説明いたしましたが、厚労省のほうでは、毎年中央のほうで最賃に関する目標を立てまして、ここの部分について各県のほうの単位の最賃を上げるようにということなのですが。

先ほど申しましたように、ここの言っている最低賃金というのはパート労働者の時給の話ですので。確かに毎年は上がっているのですけれども、本来は事務所に雇用されている正規の社員と、そういう方々とはちょっと異質かなという部分がありまして。一応、参考としては見えていますが直接的に関わらないのかなという部分がちょっとありまして、ここの判断なかなか難しいところがあるのですが。

パート労働者のあくまでも時給の部分ということで、陸上の場合には正規労働者とパート労働者との絡みがあって毎年上げるべきと。それから生活保護との絡みもありまして、今回、前年もそうだったのですが、生活保護よりも最賃のほうが高いというような状況がありますので、そういった意味で陸上のほうとしては毎年最賃を上げるべきだという方針を出しているということでございます。

なので、そこがすぐ私どものほうの設定している最低賃金と同種というようなことにはならないかと思っています。

【部会長】

よろしいですか。

【高橋委員】

これにはちょっと書いていないのですよね。最賃の基本になる部分というか、月々の基本給・航海日当など。

【海事振興部次長】

最賃に含まれる賃金の表はあるのですが。今回つけていませんけれども、必要であれば次回つけたいと。

【高橋委員】

もし、それに入っていれば、おのずと航海日当も最賃の部分に入るということはわかるかなと

思って今聞いたのですが。

【海事振興部次長】

手当だけで確か七、八種類ぐらい含めていいというか。最賃に入っている手当、入れられる手当というのが決まっていますので、その中には航海手当の分もあるのですが。

【部会長】

いろんな意味での波及効果がありますから慎重であるべきだということはよくわかりますが。全体の動きとしては、インフレーションもこれから酷くなるだろうと思いますし。経済状態が余り良くならない中でインフレーションが進むということは実質賃金が下がるということでもありますので、そこら辺の動向も考慮して下さっていろんな形で対応いただければというふうに思います。よろしいでしょうか。使用者側からのご意見等、よろしいですか。

【使用者委員】

はい。

【部会長】

それでは、報告をお聞きいただいたということで先に進めたいと思います。

情報交換等に入りたいと思いますが、よろしいですか。

では、労働者委員のほうからの情報提供をよろしくお願いします。

【高橋委員】

前回報告しましたFOC・POC活動についてなんですけれども、7月2日から4日までの3日間、八戸、秋田、酒田、仙台、塩釜、石巻と行いました。それで、15隻査察しまして、そのうち組織船が5隻、自国船が4隻おりまして、あとは未組織船でありまして、労働協約等にちょっと引く部分のある船4隻について警告文を出しております。

今回は、自国籍船、要はその国の船員がそのまま乗っている船がちょっと多かったという印象を受けております。

【部会長】

ありがとうございます。よろしいですか。ほかに大丈夫ですか。

では、使用者側のほうから。

【湯村委員】

情報資料集にあれば良かったのですが、無かったのでちょっと私のほうからご報告させていただきます。以前ご紹介しましたが「内航船員育成奨学基金」というもので、3億を目標に寄附を集めて、それを元に奨学金制度の拡充に寄与しようということで進めてきた計画なのですが、やっと目標の3億円に達しまして。

募集は、今月7月の中旬ということで、もう始まっていますか。

【清水委員】

まだ来ていないですね。

【湯村委員】

新聞情報だと7月の中旬から9月の30日までを募集期間としてということで、枠としては海上技術学校、もちろん短大も含めて全国で30人枠ということで実施されるようです。宮古のほうは4名いるようです。割り当てが4名で、規模的にはまだまだ十分ではないと思うのですが、それで、以前からの海技教育財団が実施していた90人と内航のほうに寄与できた30人ということで、合計で120人に対して奨学金を提供できるような状況になったということをご報告させていただきます。内航としては、目に見える形で内航船員の育成に貢献できたということで、非常

に嬉しく思っておるといふコメントがあります。

【部会長】

どうもありがとうございます。

【清水委員】

奨学金を受ける側で、本当にありがとうございます。

ですが、今春入学者は、全員が海技教育財団の奨学金を借りられましたので、これから出るかどうかはちょっと。希望者全員が借りられましたので、さらに借りる人間が出るかどうかちょっとわからないかと。今春入学者で奨学金希望者が9名でした。

【湯村委員】

1人当たり大体幾ら、と決まっているのですか。

【清水委員】

本人の希望もあって、ちょっと差ができるところがあるのですが、大体3万円から3万5,000円ぐらいですね。

【湯村委員】

毎月ですか。

【清水委員】

はい。

【部会長】

ちなみに、高校の学費は月幾らなのですか。

【清水委員】

高校は知りませんが、私どもは前年上がってきて、今春入学者が月額8,000円だったかな。

【村上委員】

高校は無償なのではないですか。

【鈴木委員】

無償ですね。公立は、たしか。

【清水委員】

うちの学校の場合は高校ではないので。

【部会長】

ああ、そうでした。すみません。

【清水委員】

たしか、来年が9,800円ぐらいになるのですかね。今春入学者は9,000円ですね。来春入学が9,800円でそこで打ち止めになるか、1万1,000円幾らまで行くか、ちょっとそのあたりが。毎年月額1,000円ずつ上げてきたのですが、もう少しで上げ止まりになると思うのですが。

【湯村委員】

そうすると、3万円というのはそんなに低い数字ではないという。

【部会長】

生活のサポートにもなるという話なのですね。

【清水委員】

そうですね。一番大きいのはやっぱり食費ですので。今、全国でうちの系列8校あるのですがうちの学校だけが賄い員を雇って自校で給食していますので安く上がって、大体、食費が月額2万2,000円ぐらいです。そのほか光熱費やなんかを入れると、もう均せば月額2万5,000円ぐらい

だと思しますので、3万円あれば。

【部会長】

ありがとうございます。どうぞこれからもよろしく願います。どういうふうに関わるかわからない。

それでは、よろしいでしょうか。ほかに情報提供ございますか。

【清水委員】

新聞に載っているかと思ったのですが、載っていませんでした。7月14日ですが、3年ぶりに「宮古港カッターレース」が復活できまして。今年は優勝のチャンスかなと思いましたが、残念ながら3位に終わってしまいました。非常に警察署が頑張りましたので。

それから昨日、航海訓練所の練習船「大成丸」の進水式がありまして。私は昨日行ってきたのですが、一応、今度のこの練習船が初めて内航船員向けの練習船という位置づけで造ったと。今まで航海訓練所は外航船員向けにしか考えていっていませんでしたが、初めて内航船員向けという考え方を基に造った練習船です。来年3月には竣工して、4月から就航する予定です。

【部会長】

湯村委員、何かありますか。

【湯村委員】

結構、就航までじっくり艤装するんですね。

【清水委員】

そうですね。大体2月ぐらいに試運転になるのではないかとこのところ、大体3月引き渡しというような話ですね。航海訓練所ですから計器類や何やらその辺りをいっぱい作ると思いますので。

【部会長】

よろしいですか。

【佐藤委員】

こういう船を利用するのは、各学校で決まっている期間、割り当てられるのですか。

【清水委員】

乗船実習の時期が決まっています。その時に、あとは乗船実習に送り出しますよというのに対して航海訓練所側のほうで「じゃあ日本丸に」とか「海王丸に」とか「大成丸」とかそういうふうに分けられますので。ただ主体としては一応この船はもう内航職員用ということで、言いかえれば海技教育機構の海上技術学校・海上技術短大向けの船という感じになります。

【部会長】

今まではそういうのは無かったのですか。

【清水委員】

はい。

【部会長】

では、画期的なですね。

【清水委員】

その意味では、やっと内航職員に航海訓練所も目を向けてくれたということですね。

【部会長】

よろしいでしょうか。いろいろ今日は勉強になりました。

ほかにございますか。

〔鈴木委員より 8 月 1 日付け人事異動に伴う臨時委員交替の挨拶〕

【部会長】

寂しいことではありますが、手続方、どうぞよろしく願いいたします。

ほかになにかございますか。

ありませんでしたら、今日の議事は終了となりますが、まだちょっと早いですけれども、事務方のほう、どうぞよろしく願いいたします。

◎閉 会